

### 第 3 章 健康づくり

保健サービス課

#### 1 成人保健

年齢、心身の状況に応じて健康教育、健康診査等の保健事業を総合的に実施し、生活習慣病等の予防、早期発見、早期治療を図るとともに、自分自身の健康に対する自覚を高め老後の健康と適切な医療を確保する目的で、区では次のような保健事業を実施している。

##### (1) 健康手帳の交付

健康手帳は特定健康診査（総合健康診査）・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に資することを目的とする。平成 21 年度からは、40 歳の方に郵送しているほか、41 歳以上の希望者に交付している。

区 分	交 付 総 数	老人医療受給者証	41 歳以上の希望者
		新規対象者	
平成 20 年度	71,995	71,973	22
平成 21 年度	3,133	—	11
平成 22 年度	3,225	—	13
平成 23 年度	3,340	—	9
平成 24 年度	3,542	—	7

\*平成 19 年度までは、70 歳到達者に送付。

\*平成 20 年度は、40 歳～67 歳の者に送付。

##### (2) 区民健診（循環器健診等）

健診機会の少ない 40 歳未満の区民を対象に、結核・生活習慣病の早期発見と予防を目的として健診を実施している。16 年度から C 型肝炎検査も別個同日に実施。

区 分	検 査 件 数 ( ) は避難者のうち数							
	実 人 員	血 圧 測 定	尿 検 査	血 液 検 査	心 電 図	聴 力 検 査	検 C 型 肝 査炎	検 B 型 肝 査炎
平成 20 年度	396	396	391	383	103	47	317	317
平成 21 年度	420	420	416	409	130	61	282	283
平成 22 年度	377	377	376	373	156	71	212	211
平成 23 年度	399(3)	399(3)	395(3)	392(3)	178(3)	70(3)	191(2)	192(2)
平成 24 年度	413	413	412	408	187	100	202	200

\*15 年度から心電図・聴力検査を追加（希望者）。

\*20 年度からは、C 型肝炎検査と B 型肝炎検査を無料で実施（希望者）。

\*23 年度からは、厚生労働省の事務連絡「東日本大震災により被災したものに係る健康増進事業の実施に関する取扱いについて」（平成 23 年 5 月 31 日付）に基づき避難者が受診。

### (3) 総合健康診査

平成20年度から高齢者の医療の確保に関する法律等に基づいて40歳以上の者に健康診査を実施している。平成19年度までの基本健康診査と同じ健診内容とするため独自に上乘せ項目を追加して「総合健康診査」として、地区医師会に委託して協力医療機関で実施している。

平成20年度	区分	国民健康保険	後期高齢者 医療保険	生活保護 受給者等	計
	対象者数(人)	37,959	16,367	6,063	60,389
	受診者数(人)	14,445	8,174	2,501	25,120
	受診率(%)	38.05	49.94	41.25	41.59

※ 上記以外の社会保険等加入者：対象者数40,291人 受診者数1,647人

平成21年度	区分	国民健康保険	後期高齢者 医療保険	生活保護 受給者等	計
	対象者数(人)	38,470	16,810	6,642	61,922
	受診者数(人)	14,405	8,487	1,912	24,804
	受診率(%)	37.44	50.49	28.79	40.06

※ 上記以外の社会保険等加入者：対象者数41,112人 受診者数1,759人

平成22年度	区分	国民健康保険	後期高齢者 医療保険	生活保護 受給者等	計
	対象者数(人)	40,484	17,476	5,334	63,294
	受診者数(人)	15,564	9,020	1,253	25,837
	受診率(%)	38.44	51.61	23.49	40.82

※ 上記以外の社会保険等加入者：対象者数42,397人 受診者数1,801人

平成23年度	区分	国民健康保険	後期高齢者 医療保険	生活保護 受給者等	計
	対象者数(人)	40,500	18,049	5,926	64,475
	受診者数(人)	15,367	9,268	1,327	25,962
	受診率(%)	37.94	51.35	22.39	40.27

※ 上記以外の社会保険等加入者：対象者数42,106人 受診者数1,907人

平成24年度	区分	国民健康保険	後期高齢者 医療保険	生活保護 受給者等	計
	対象者数(人)	40,026	18,562	6,048	64,636
	受診者数(人)	15,382	9,454	1,498	26,334
	受診率(%)	38.43	50.93	24.77	40.74

※ 上記以外の社会保険等加入者：対象者数43,374人 受診者数1,904人

#### (4) 特定保健指導

平成20年度より特定健診（40歳から74歳）受診者のうち特定保健指導の該当者に保健指導を実施している。

(単位：人)

年 度	総合健診 受診者数 (国保 加入者数)	保健指導対象者			保健指導 終了者	実施率 (%)
		動機付け 支援	積極的支援	合 計		
20	14,445	703	507	1,210	286	23.6
21	14,405	1,228	693	1,921	425	22.1
22	15,564	1,186	668	1,854	290	15.6
23	15,367	1,126	638	1,764	308	17.5

- ・動機づけ支援とは、初回面接から6ヵ月間に電話でのサポート。
- ・積極的支援とは、初回面接から6ヵ月間に手紙・電話等で数回サポート。

#### (5) 胃がん検診

胃がんの早期発見、早期治療を目的として区民（35歳以上）で検診を希望する者を対象に実施している。

区 分	受診者数	受診率	検 診 結 果				がん発見者数 (疑い含む)
			異常なし	要精密	要経過観察	判定不能	
平成20年度	1,171	1.6%	947	216	-	7	1
平成21年度	1,649	2.2%	1,354	267	-	28	3
平成22年度	1,475	2.0%	1,182	201	88	4	2
平成23年度	1,398	1.9%	1,101	183	111	3	1
平成24年度	2,076	2.8%	1,668	171	237	0	4

※保健所でのがんセット検診に加え、平成22年度から医療機関でも実施開始。

#### (6) 大腸がん検診

大腸がんの早期発見、早期治療を目的として区民（35歳以上）で検診を希望する者を対象に実施している。

区 分	受診者数	受診率	検 診 結 果					がん発見者数 (疑い含む)
			異常なし	要精密	受診勧奨	要経過観察	検体不備	
平成20年度	1,312	1.6%	1,053	81	176	-	0	1
平成21年度	1,858	2.2%	1,612	120	126	-	0	11
平成22年度	19,339	22.6%	17,194	1,756	125	264	0	101
平成23年度	19,003	23.8%	17,162	1,563	75	203	0	57
平成24年度	19,283	23.8%	17,474	1,505	109	195	0	46

※保健所でのがんセット検診に加え、平成22年度から医療機関で総合健康診査と同時実施開始。

(7) 子宮がん検診

区民の女性(20歳以上)で検診を希望する者を対象に実施している。

(17年度から隔年受診)

【頸部検診】

区 分	受診者数	受診率	検診結果			がん発見者数 (疑い含む)
			異常なし	要精密	判定不能	
平成20年度	2,258	7.1%	2,235	23	0	3
平成21年度	3,531	10.5%	3,480	51	0	1
平成22年度	6,528	16.9%	6,401	124	0	3
平成23年度	6,225	24.4%	6,139	79	7	3
平成24年度	6,672	24.7%	6,576	80	16	6

※平成21年度から、国の施策として「女性特有のがん検診推進事業」

(対象者へ無料クーポン券の配布)を実施。

※平成22年度から、20歳以上の偶数年齢の区民の女性に個別通知の発送を実施。

【体部検診】

区 分	受診者数	検診結果				がん発見者 数(疑い含む)
		陰 性	疑陽性	陽 性	判定不能	
平成20年度	161	150	0	0	11	0
平成21年度	147	137	2	0	8	0
平成22年度	-	-	-	-	-	-
平成23年度	-	-	-	-	-	-
平成24年度	-	-	-	-	-	-

※平成22年度から、体部検診は廃止

## (8) 乳がん検診

視触診のみは、平成21年度まで区民の女性（30歳以上）で検診を希望する者を対象に地区医師会に委託して実施していた。マンモグラフィ併用は、区民の女性（40歳以上）で検診を希望する者を対象に専門の検診機関に委託して実施（隔年受診）。

区 分	視触診のみ			マンモ併用			がん発見者数 (疑い含む)
	受診者数	受診率	要精密	受診者数	受診率	要精密	
平成20年度	675	1.3%	32	2,853	9.9%	186	12
平成21年度	706	1.4%	39	3,751	16.6%	341	9
平成22年度	-	-	-	4,653	20.6%	326	8
平成23年度	-	-	-	4,557	24.6%	277	8
平成24年度	-	-	-	4,902	24.9%	334	9

※平成21年度から、国の施策として「女性特有のがん検診推進事業」

（対象者へ無料クーポン券の配布）を実施。

※平成22年度から、「視触診のみ」廃止。40歳以上の偶数年齢の区民の女性に個別通知の発送を実施。

## (9) 肺がん検診

肺がんの早期発見、早期治療を目的として区民（40歳以上）で検診を希望する者を対象に実施している。

区 分	受診者数		受診率	異常なし		要精密者		要経過観察		がん発見者数(疑い含む)
	X線	喀痰		X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	
平成20年度	610	—	1.0%	538	—	59	—	—	—	1
平成21年度	1,335	533	2.1%	1,242	530	88	0	—	—	2
平成22年度	844	128	1.3%	749	126	76	0	14	2	2
平成23年度	767	119	1.1%	660	118	91	0	16	1	0
平成24年度	899	92	1.3%	813	92	47	0	39	0	0

※保健所でのがんセット検診に加え、平成22年度から医療機関でも実施開始。

(10) 耳鼻科検診

平成19年度から、「耳鼻科検診」として実施。健康診査のなかで問診により聴取した「声のかすれ・のどに異物感」がある者のうち、50歳以上の者又はブリンクマン指数600以上の者に実施する。(ブリンクマン指数：1日当りの平均喫煙量(本数)×喫煙年数)

区 分	受診者数	検 診 結 果			がん発見者数 (疑い含む)
		異常なし	所 見 あ り		
			要精検	精検不要	
平成20年度	288	131	29	128	2
平成21年度	314	174	15	125	2
平成22年度	412	243	35	133	0
平成23年度	402	224	18	160	2
平成24年度	367	209	13	145	1

(11) 骨密度測定

平成6年度から35歳及び40歳以上の区民を対象に、骨粗しょう症検診として実施。  
平成15年度から骨密度を測定し、栄養・食生活改善など適切な指導をしてきたが、平成22年度末で廃止。

区 分	受診者			異常なし			要指導			要精密者			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
平成20年度	44	336	380	39	107	146	5	148	153	0	81	81	
平成21年度	35	372	407	30	122	152	5	163	168	0	87	87	
平成22年度	30	242	272	27	73	100	3	121	124	0	48	48	
年 齢 別 内 訳	40未満	2	8	10	2	8	10	0	0	0	0	0	0
	40～44	1	8	9	1	7	8	0	1	1	0	0	0
	45～49	1	19	20	1	16	17	0	3	3	0	0	0
	50～54	1	12	13	1	8	9	0	2	2	0	2	2
	55～59	1	20	21	1	10	11	0	8	8	0	2	2
	60～64	4	50	54	3	13	16	1	28	29	0	9	9
	65～69	8	44	52	7	6	13	1	29	30	0	9	9
	70～74	5	35	40	5	2	7	0	23	23	0	10	10
75以上	7	46	53	6	3	9	1	27	28	0	16	16	

## (12) 小規模事業所健診

台東区内の小規模事業所従事者を対象として、疾病の予防、結核・生活習慣病の早期発見を目的に実施している。

年 度	事業所数	実人員	胸部X線	尿検査	血液検査	心電図	聴力検査	検C型肝炎	検B型肝炎
平成20年度	217	546	542	544	546	546	546	290	288
平成21年度	226	521	517	519	521	521	521	322	323
平成22年度	206	484	481	481	484	484	484	187	187
平成23年度	170	446	436	443	445	446	446	130	128
平成24年度	177	434	429	421	433	434	434	92	92

## (13) 耳の健康相談

3月3日の「耳の日」における事業の一環として、区民の耳の健康増進をはかるために「耳の講演会」を実施した。平成22年度までは日本耳鼻咽喉科学会東京地方部に委託し、耳の健康相談を実施していたが、平成23年度より耳の健康相談事業は、日本耳鼻咽喉科学会東京地方部の自主事業として開催されることとなったため、区としては事業を行わず後援をしている。

### <耳の講演会>

実施年月日：平成25年3月4日（月）

開催場所：台東区役所10階 1001会議室

参加人数：242人

## (14) 緑内障検診

60歳の区民を対象に高齢者の視力低下や失明の大きな原因である緑内障等の早期発見・早期治療を目的に実施している。

実施年月 5月1日～3月31日

実施場所 区内協力医療機関

年 度	受診者数	総合判定		
		所見なし	経過観察	要精査
平成20年度	440	268	122	50
平成21年度	469	262	162	45
平成22年度	344	244	2	98
平成23年度	342	252	7	83
平成24年度	347	250	2	95

## 2 生きいき健康づくり事業

区民が健康で生きいきと暮らしていくためには、生涯を通じての自主的な健康づくりが大切である。区では、いち早く区民と区が一体となって健康づくりを推進するため、平成5年に、「健康都市宣言」を、つづいて13年度には「生涯健康宣言」を宣言した。また、平成19年には、全ての区民が住み慣れた地域でいきいきとその人らしく暮らしていくことができるよう「自助」「公助」そして、「共助」（地域社会全体で支え合うこと）の考えをふまえた『たいとう健康都市宣言』を行うなど、区を上げて健康づくり施策に取り組んできたところである。

### (1) 啓発推進事業

#### 生きいき健康づくり健康推進委員事業

地域における住民の自主的な活動を促すことにより、区民が自らの健康の保持と増進を図り、地域での保健衛生思想の普及と、地域での健康づくりを推進することを目的とし、平成3年度から一部地域をモデル事業として開始し、平成9年度からは、区内全域に拡大し、活動内容も充実してきている。

平成24年度活動内容は、下記のとおりである。

健康推進委員	全地区	187名（H23年度より）		
地区連絡会	96回	延参加者数	1,163名	
リーダー連絡会議	7回	延参加者数	73名	
健康学習会	45回	健康推進委員	延参加者数	554名
		一般区民	延参加者数	1,979名
地域行事への参加	17回	健康推進委員	延参加者数	170名
		一般区民	延参加者数	2,694名
健康まつりへの協力	1回	健康推進委員	延参加者数	12名
		一般区民	延参加者数	254名
活動発表会	平成25年3月19日開催	延参加者数	171名	

#### ◆ 用語説明

地区連絡会：健康推進委員と保健所職員等との連絡・調整や健康学習会の企画・地域行事への参加などについての打合せ

リーダー連絡会議：保健所との連携、各地区の情報交換を目的とした会議。活動単位ごとのリーダー11名が出席。

健康学習会：健康推進委員主催で区民を対象に開催した講習・講演会等

地域行事への参加：健康推進委員が地域で行われる行事に参加したもの

合同交流会：健康推進委員相互の交流を図るもの

及び活動発表会

## (2) 健康学習

区民が生涯を通じて生きいきと豊かな生活を送る基盤は健康である。『自分の健康は自分で守り、つくる』という考えを基本として、知識の普及や生活習慣病予防、介護予防、健康づくりや育児支援等さまざまな目的をもって健康学習会を開催している。

	テーマ名	回数	参加者数	主な内容
母子保健	歯と口に関すること	21	1,004	母子・保育園児・幼稚園児等を対象とした健康学習と歯みがき指導
	栄養に関すること	26	379	離乳食講習会・親子クッキングなど
	保健に関すること	15	289	小児救急教室・育児相談における講習会（食品衛生など）・高校生を対象とした赤ちゃんとのふれあい教室 イヤイヤ期の対応・生活リズム・トイレトレーニングなど
	母子合計	62	1,672	
成人保健	歯と口に関すること	5	62	成人・障害者を対象とした健康学習と歯みがき指導
	栄養に関すること	22	357	各種団体からの依頼による学習会・食育
	保健に関すること	54	683	各種団体からの依頼による学習会（生活習慣病予防など）、がん予防、糖尿病予防、区民健診の振り返りについてなど
	たばこ対策	1	30	禁煙に関する講演会
	成人合計	82	1,132	
	区民のための健康教室	3	57	浅草医師会との共催の学習会（認知症を知ろうなど）
	合計	147	2,861	

### (3) 健康総合相談

高齢化の急速な進展、少子化、疾病構造の変化等に伴い、区民の保健事業に対する要望も多様化、高度化している。これらに対応するために、区民に総合的な個別総合相談事業を保健サービスとして提供している。

#### (ア) 家庭訪問、相談実績

区 分	総合計	個別訪問 健康相談	所内面接 電話相談 文書等	関係機関 連 絡	個別 栄養相談	所内面接 電話等による 栄養相談
総 数 (延人員)	12,670	2,781	4,800	3,210	58	1,821
台 東	7,057	1,376	2,422	1,380	58	1,821
浅 草	5,613	1,405	2,378	1,830	-	-

(個別訪問健康相談・所内面接・電話相談・文書連絡・関係機関連絡は、P\_129のア. 家庭訪問等の件数の再掲)

#### (イ) 保健師事例検討会・地域づくり懇談会

実 施 日	テ ー マ	講 師	参加者数
8 月 30 日	HTLV-1 について	東京大学医科学研究所附属病院 医師 内丸 薫	23
10 月 31 日	まつり報告会	聖路加看護大学教授 麻原 きよみ	29
3 月 6 日	地区診断について	聖路加看護大学教授 麻原 きよみ	14
3 月 27 日	母乳について	助産師 石塚 真姫子	15
3 月 27 日	精神事例検討会	荒川区保健師 与儀 恵子	17

#### (ウ) タバコ対策

禁煙週間キャンペーンの実施 (5月)

会場：区役所1階、生涯学習センター1階、保健所、浅草保健相談センター

内容：パネル展示、ポスター展示、リーフレットの配布、

参加者数：976人

### 3 母子保健

母子保健法及び児童福祉法等に基づき、妊産婦及び乳幼児への保健指導、健康診査、母子訪問指導など実施している他、未熟児養育医療や妊娠高血圧症候群等の医療給付など各種事業を実施し、母性及び乳幼児の健康の保持、増進を図る。

#### (1) 妊娠の届出数と妊婦健康診査

##### ア 妊娠届

保健所、浅草保健相談センター、区役所(戸籍住民サービス課)、区民事務所(分室含む)で受理し、母子健康手帳と母と子の保健バッグを交付している。

区分	届出数	妊 娠 週 数				
		満11週以内	12～19週	20～27週	28週以上	不詳
総数	1,704	1,542	139	16	7	0
台東	717	638	65	8	6	0
浅草	987	904	74	8	1	0

##### イ 妊婦健康診査

#### ① 妊婦健康診査・妊婦超音波検査

妊娠届を提出した妊婦に対して、妊娠中の健康管理と流産・早産の防止、児の障害の予防を目的として、14回分の受診票を交付し、委託医療機関で受診する。1回目妊婦健康診査時に、HBs抗原検査を実施し、B型肝炎ウイルスの母子感染防止を図っている。

また、妊婦超音波検査受診票1回分を交付し、胎児の発育異常や胎盤の付着部位の異常等の検査を実施し、母体の健康管理を図っている。

受診数	内 訳		
	1回目	2～14回目(延数)	超音波検査
総数	1,561	14,917	1,308
台東	667	5,933	525
浅草	888	8,147	750
※転出	6	837	33

※転出は、妊娠届出時台東区に居住していた妊婦が、都内他区市町村に転出した場合の受診。

#### ② 里帰り出産等妊婦健康診査費助成

里帰り先や助産所での受診等、区が交付した妊婦健康診査受診票や超音波検査受診票を利用せずに自費で健診を受けた妊婦に対し、健診費の助成を行う。

助成件数	内 訳 (延数)		
	1回目	2回目～14回目	超音波検査
311	41	1,739	76

(2) ハローベビー学級

妊娠・出産・育児等についての知識及び沐浴・抱き方等の技術の習得や仲間づくりを目的に、妊婦とその夫を対象として実施している。

		平日学級	土曜学級	日曜学級
		2日制	2日制	1日制
総 数	開催回数	4	6	6
	延べ受講者数	123	326	272
台 東	開催回数	2	3	3
	延べ受講者数	67	163	139
浅 草	開催回数	2	3	3
	延べ受講者数	56	163	133

(3) 乳児健康診査

ア 3～4か月児健康診査

乳児に対する健康診査及びその保護者に適切な保健指導を実施し、乳児の健全な育成を図る。また、精密健診の必要のある者については、精密健診受診票を交付し、医療機関での早期受診を勧奨している。

<実施内容> 問診・身体計測・診察・個別保健指導・集団（保健、栄養）指導

① 3～4か月児健康診査受診状況

区 分	対 象 者 数 (通知発送数)	受 診 者 数	有 所 見 者 実 数	個 別 相 談
				保 健
平成24年度	1,409	1,399	480	580
台 東	598	620	184	239
浅 草	811	779	296	341

② 3～4か月児健康診査結果

受診者数	有所見者 実数	有所見者 延数	所見内訳 (延数)											
			発育	皮膚	頭頸部	顔面 口腔	眼	耳鼻 咽喉	胸部 腹部	鼠径 外陰部	背部	四肢	発達 神経	その他
1,399	480	538	101	326	6	7	7	3	42	11	2	15	12	6
指示 内容	精密健診	13	0	0	1	0	1	1	1	2	0	7	0	0
	受診(治療)勧奨	67	2	57	0	0	0	0	4	0	1	3	0	0
	他機関管理中	146	24	81	1	2	3	0	25	5	0	2	1	2
	経過観察	91	55	19	2	0	2	0	0	1	0	2	10	0
	一時的指導	221	20	169	2	5	1	2	12	3	1	1	1	4

イ 6か月・9か月児健康診査

乳児の発育状況、精神・運動発達の遅れ等精神面、身体面についての健康診査を、生後6～7か月児及び9～10か月の乳児に対し受診票を交付し、都内契約医療機関で実施している。

① 6か月児

	対象者数	受診者数	健診結果内訳 (実数)				保健所への連絡事項内訳 (再掲)			
			異常なし	異常あり	疑い	不明	医療機関で指導	保健所で指導	他機関管理中	その他
総数	1,409	1,241	1,204	16	21	0	368	6	22	0
台東	598	522	501	10	11	0	131	5	15	0
浅草	811	719	703	6	10	0	237	1	7	0

② 9か月児

	対象者数	受診者数	健診結果内訳 (実数)				保健所への連絡事項内訳 (再掲)			
			異常なし	異常あり	疑い	不明	医療機関で指導	保健所で指導	他機関管理中	その他
総数	1,409	1,166	1,126	24	15	1	285	7	17	1
台東	598	479	451	19	9	0	100	5	9	0
浅草	811	687	675	5	6	1	185	2	8	1

(4) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児に対して身体面、精神発達面及び歯科保健状態の診査を実施し、その結果に基づいて適正な指導・相談を行い、幼児の健全な育成を図る。

なお、内科健診は区内医療機関に委託、歯科健診・心理発達・保健・栄養指導は保健所で実施している。

ア 医療機関委託（内科）

区分	交付数	受診者数	健診結果内訳（重複あり）						
			特になし	要指導	要経過観察	加療中	要治療	要精密	その他
総数	1,323	1,201	1,109	22	28	27	5	10	0
台東	566	487	447	8	10	13	3	6	0
浅草	757	714	662	14	18	14	2	4	0

イ 保健所実施

区分	歯科健診		個別相談			心理相談
	対象者数	受診者数	保健	栄養	歯科	
総数	1,323	1,128	134	398	914	290
台東	566	474	55	154	397	132
浅草	757	654	79	244	517	158

ウ 1歳6か月児の心理相談（経過観察含む）

心理相談者数（実数）	相談項目総数（延数）	問題なし	精神発達の問題	ことばの問題	くせの問題	行動性格の問題	社会性の問題	生活習慣の問題	養育者の問題	家庭環境の問題	疾病障害の疑い	その他	
													要精密
275	529	6	24	212	11	102	42	38	34	17	32	11	
結果内訳	要精密	24	0	3	7	0	4	3	0	1	1	4	1
	経過観察	307	0	18	134	2	51	31	19	13	6	26	7
	助言のみ	198	6	3	71	9	47	8	19	20	10	2	3
	特になし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 3歳児健康診査

3歳児に対して身体面及び精神発達面の診査を実施し、その結果に基づいて適正な指導及び措置を行うことにより幼児の健全な育成を図る。また、保健指導の際に歯科健診と心理判定も実施し、健診の結果、精密健診の必要があるものについては、精密健診受診票を交付している。

[健診内容] 診察・身体測定・尿検査・歯科健診・歯科指導・栄養（集団・個別指導）・心理相談・視力検査・聴力検査

ア 3歳児健康診査

区分	対象者数	内科 受診者	有所見 者数	歯科 受診者	個別相談			心理 相談
					保健	栄養	歯科	
総数	1,118	994	202	992	245	89	808	243
台東	479	435	57	434	98	49	343	94
浅草	639	559	145	558	147	40	465	149

※心理相談は経過観察含む

イ 3歳児健康診査内科受診結果

受診者数	有所見者 実数	有所見者 延数	所見内訳（延数）													尿・ 蛋白陽性
			発育	皮膚	顔面 口腔	頭頸部	眼	耳鼻 咽喉	胸部 腹部	鼠径 外陰部	背部 四肢	運動	精神	言語	日常生活	
994	202	247	8	28	8	43	13	16	56	5	0	10	26	20	14	1
指示 内容	精密健診	56	0	1	1	31	5	1	9	3	0	1	1	1	2	0
	受診勧奨	15	0	3	1	5	0	1	3	0	0	0	0	0	2	0
	他機関管理中	61	5	9	4	3	5	13	3	2	0	3	6	4	4	0
	経過観察	9	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	1	1	1	1
	一時的指導	106	3	15	2	4	3	1	37	0	0	4	18	14	5	0

ウ 3歳児健康診査心理相談

心理相談 相談者 数 (実数)	相談 項目 総数 (延数)	問題 なし	精神 発達 の問題	こと ばの 問題	く せの 問題	行 動 性 格 の 問題	社 会 性 の 問題	生 活 習 慣 の 問題	養 育 者 の 問題	家 庭 環 境 の 問題	疾 病 障 害 の 疑 い	そ の 他	
218	488	3	12	98	14	126	32	55	61	47	30	10	
結果 内 訳	要精密	30	0	0	7	0	6	2	1	3	2	9	0
	経過観察	183	0	10	33	3	43	21	15	21	27	8	2
	助言のみ	270	2	2	54	11	77	9	39	37	18	13	8
	特になし	5	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0

(6) 母子訪問指導

(ア) 母子訪問指導

生後28日未満の新生児、妊産婦、乳幼児等を対象に保健師や訪問指導員（助産師）が家庭訪問し、病気の予防、発育、栄養、出産・育児等について適切な指導を行っている。

	総 数		訪問実施者内訳			
			保健師訪問分		指導員訪問分	
	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
妊 婦	0	0	0	0	0	0
産 婦	1,470	1,555	866	951	604	604
新生児（未熟児を除く）	848	866	244	262	604	604
(再掲) 生後28日未満の者	421	439	244	262	177	177
未 熟 児	29	29	29	29	0	0
乳児（新生児・未熟児を除く）	633	730	633	730	0	0
幼 児	55	67	55	67	0	0
小 学 生 以 上	0	0	0	0	0	0

(イ) 乳児家庭全戸訪問

従来の母子保健法に基づき「新生児訪問」を実施していたが、児童福祉法改正により「乳児家庭全戸訪問事業」として位置づけられたため、平成23年度から出生届等で把握した全家庭を対象とした「乳幼児家庭全戸訪問」として実施。

保健師及び訪問指導員（助産師）が、生後5か月未満の乳児のいる全ての家庭を訪問し、母子の健康状態や養育環境を確認するとともに、地域の子育て情報を伝えることにより子育ての孤立化を防ぎ、虐待予防につなげている。

対 象 : 平 成 24 年 4 月 1 日 ~ 平 成 25 年 3 月 31 日 出 生 児

	対象者数	訪問実施済数						訪問未実施済数						
		28日未満	2か月未満	3か月未満	乳健前	乳健後	合計	転出	長期 里帰り	住民票と 相異あり	拒否	訪問 調整中	その他	合計
全体	1,490	223	682	338	85	46	1,374	43	9	5	12	35	13	117
台東	642	121	292	135	31	20	599	23	2	1	4	12	2	44
浅草	848	102	390	203	54	26	775	20	7	4	8	23	11	73

平成25年5月末現在

(7) すこやか育児相談

乳幼児の保護者を対象に、児のすこやかな育成のために、心身の発育・発達、保護者の育児不安等軽減のための相談指導および情報交換や親子の交流の機会を提供する。

ア 所内相談

目的：育児中の保護者に対し、いつでも気軽に相談できる電話相談やきめ細やかに対応できる個別の面接、必要時の文書連絡や関係機関との連携を行い、保護者の不安・負担を軽減し児のすこやかな育成を図る。

事業実績：

面接相談	電話相談	文書連絡	関係機関 連絡	合計
134	1,706	186	567	2,593

(訪問等合計数については P.129 ア. 家庭訪問等の件数の再掲)

イ 1～3か月児の育児相談

目的：育児負担や保護者の精神的不安が最も大きな1～3か月児の保護者に対し、早期に育児の相談に応じ同じ立場を共有できる仲間とのつながりを作り、負担や不安を軽減し育児能力の向上を図る。

実施内容：月1回ずつ、台東保健所・浅草保健相談センターにて、身長・体重測定、交流のためのグループワーク、育児に関する個別相談を実施（予約制）。

事業実績：

実施回数	延べ参加者数
24	363

ウ 1歳6か月児からの育児相談

目的：心身両面の発育発達において重要な時期である1歳6か月からおおむね3歳の児と保護者に対し、保護者の個別相談に応じながら集団遊びの場を設け、保護者の育児支援や発達遅延の早期発見・対応を行う。

実施内容：月1回ずつ、台東保健所・浅草保健相談センターにて、身長・体重測定、育児に関する個別相談、交流を促し発育を促進するための集団遊びを実施。

事業実績：

実施回数	延べ参加者数
24	645

## エ 出張育児相談

目的：子育て中の保護者に対し、身近な地域でいつでも気軽に育児の相談に応じ、保護者同士の交流が図られ、育児負担や不安が軽減し安定した育児ができるよう支援する。

実施内容：区内6箇所にて、身長・体重測定、育児に関する個別相談、各種ミニ講座、親子の交流を実施。

事業実績

実施回数	延べ参加者数
71	1,884

## オ 子育て心理相談

目的：子育てや家族関係に悩む保護者を対象に、専門カウンセラーによる個別相談を行い、保護者の精神安定を図る。

実施内容：月1回ずつ、台東保健所・浅草保健相談センターにて個別相談を実施（予約制）。必要時、地区担当保健師による個別支援につなげる。

事業実績：

実施回数	延べ参加者数
24	40

## カ 育児ほっとタイム（MCG・親と子の関係を考える会）

目的：子育てに自信がない、子どもがかわいくない等の心理状態や家族関係に悩む保護者を対象に専門グループワーカーによるグループカウンセリングを行い、保護者の精神的安定を図る。

実施内容：月1回、浅草保健相談センターにて匿名性のグループミーティングを実施（予約制）。必要時、個別相談フォローや地区担当保健師による個別支援へつなげる。

事業実績：

実施回数	延べ参加者数
12	63

## キ 外国人親子への通訳派遣

目的：慣れない地域で孤立しがちな外国人の保護者に対し、情報提供や円滑なコミュニケーションを行う。

事業内容：NPOの協力を得て通訳を派遣し個別相談・支援を実施。

事業実績：通訳派遣 2回/年

ク あさくさ おやこる一む

目 的：プレイルームを開放し、乳幼児への安全な遊び場の提供と、  
乳幼児を育てている保護者の交流を図る。

事業内容：週2回（水・金）、浅草保健相談センター1階プレイルームを  
0～3歳児の親子に開放する。また同時に絵本や保護者向けの  
図書貸し出しも実施している。

事業実績：

延べ利用者数	図書貸出し数
781人	45冊

(8) 子ども健康相談（乳幼児経過観察健康診査）

乳幼児健診の結果、経過観察の必要な児や、保健師による家庭訪問等から必要と  
判断された児に対し、小児科医による診察と保健師・栄養士による指導を行う。

区 分	実 人 員	延受診者数	有所見者数	栄養相談
人 数	83	97	56	18

(9) 発達相談

目 的：

- ① 発達の遅れ、障害のある児の早期発見。必要時に専門療育機関を紹介する。
- ② 保護者の不安軽減、受容、親子の愛情形成等の効果を得る。

事業内容：

育児相談・乳幼児健診の結果や保護者からの相談等により、精神、運動、言語  
等に遅れや障害が疑われる児に対し、小児神経科医師の診察、作業療法士による  
遊びを交えた訓練指導、心理相談員による個別指導、言語療法士による個別・集  
団指導を毎月実施する。集団指導卒業生の会は年1回実施する。

区 分	発達相談	訓練指導	心理相談	言 語	集 団	計
実人員	58	23	41	89	43	254
延相談件数	74	38	47	108	161	428

## (10) 母子関係医療費公費負担

台東区では、母子保健上一定の疾病に罹患し入院等による治療にかかる高額な医療費に対し給付を行っている。

### ア 養育医療給付

未熟児は正常の新生児に比べて機能が未熟であり、疾病にかかりやすく、その死亡率はきわめて高い。医師が入院養育が必要と認めた未熟児に対し入院医療に要する費用の給付を行う。

### イ 妊娠高血圧症候群等

妊娠により入院医療を必要とする妊娠高血圧症候群等・糖尿病・貧血・産科出血及び心疾患に係る医療に関する給付について、各種医療保険等を適用し、その自己負担額（入院時食事療育の標準負担額を除く）を助成する。

### ウ 自立支援医療（育成医療）給付

満18歳未満の方で、身体障害、心臓障害、肝臓障害、その他内臓障害のため指定医療機関において、入院及び通院による医療費の給付を行う。

### エ 療育給付

児童福祉法第20条の規定により、骨関節結核及びその他の結核にかかっている18歳未満の方で、指定療育機関での入院に要する費用の給付を行う。また、その他、療育生活に必要な日用品と学校教育を受けさせるために必要な学用品の給付を行う。

給付区分	対象となるもの	申請件数	延給付件数
養育医療	未熟児	30	83
妊娠高血圧症候群等	妊娠高血圧症候群等	1	1
自立支援医療（育成医療）	発音・聴覚・歩行障害・先天性内臓疾患	14	42
療育医療	結核・骨関節結核	0	0

オ 小児慢性疾患（実施主体：東京都）：經由事務

小児慢性疾患にり患している満18歳未満の方で、認定疾患に係る医療費について、各種医療保険等適用し、その自己負担額を助成する。

また、小児慢性疾患医療費助成の認定を受け、在宅で日常生活を営む上で支障がある方に、必要な日常生活用具を給付する。（実施主体：区）

小児慢性疾患の助成対象となる疾病等

区 分	申請件数	区 分	申請件数
慢性心疾患	16	慢性血液疾患	3
膠原病	4	悪性新生物（がん）	12
慢性腎疾患	10	慢性呼吸器疾患	0
内分泌疾患	16	神経・筋疾患	4
糖尿病	10	慢性消化器疾患	2
先天性代謝異常	10		

小児慢性疾患児日常生活用具給付 1件

#### (11) 特定不妊治療費助成

特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）にかかる経済的負担を軽減する目的で、平成24年度より助成を開始した。

対 象：「東京都特定不妊治療費助成事業」の承認決定を受けている区民

助 成 額：治療1回につき、都助成額を差し引いた額のうち50,000円上限

助 成 回 数：初年度3回、次年度以降は2回まで、通算5年度で計10回まで

年 度	申請件数	備 考
24	81	平成24年4月1日以降に開始した治療を対象としている

## 4 女性のトータルヘルスサポート

女性は特有の身体的特徴を有することにより、生涯のライフステージごとにさまざまな健康課題に直面する。これらに対し、適切に自分の健康管理を主体的に行うことができるよう生涯にわたる健康づくりを支援する。

### (1) 女性のための健康相談

目 的：女性特有の心身の問題について、女性の婦人科医および心療内科医が相談に応じ、健康の保持・増進を図る。

事業実績：

相談内容	相談日	定員	相談者数	実施回数
婦人科	第2水曜日	4名	27人	11回
心療内科	第2木曜日 H25.1月より 第3火曜日	3名	12人	11回
計			39人	22回

相談内容：

婦人科（重複あり）

婦人科関係	19
産科関係	7
内科関係	1
その他	0

心療内科（重複あり）

① 律神経失調症・身体症状等	1
② うつ状態	5
③ 摂食障害	1
④ 人間関係	0
⑤ その他	5

## (2) 子育てママの健康診断

目的：健康診断を受ける機会が少ない子育て中の母親を対象に、保育付きの健康診断を行うことにより、疾病の予防・早期発見を図る。また、保健師等による相談・指導を行うことにより、自分自身・家族に対する健康管理の意識の向上と良好な生活習慣の確立を図る。

実施内容：計測（身長・体重・血圧・体組成）、尿検査、骨密度測定、内科診察、保健師・栄養士・歯科衛生士による健康のアドバイス

実施回数：6回、1回2日制・定員各回35名

### 事業実績

申込者数	受診者数 (実人員)	保育数 (延べ)	健診結果		
			異常なし	要指導	要精密検査
178	145	194	41	79	25

## (3) 乳がん自己検診法の普及

目的：乳がんは、現在、日本人女性の16人に1人がかかる罹患率の高いがんであり、唯一自分で触って発見できるがんである。そのため、乳がんの正しい知識と自己検診法を普及することにより、乳がんの予防と早期発見を図る。  
また、10月のピンクリボンキャンペーン（乳がん月間）活動を実施し、広く乳がんについての啓発事業を行なった。

### 事業実績：

#### ① 乳がん自己検診法講演会 女性の健康講座の機会に、積極的に乳がんの啓発を実施した

実施日	講師	対象者	参加人数	会場
全6回	台東保健所保健師	子育てママの健康診断受診者(2日目)	116名	台東保健所
2回	台東保健所保健師	家庭教育学級受講者	53名	区内幼稚園・小中学校
6回	台東保健所保健師	出張育児相談来所者	112名	各育児相談会場
2回	台東保健所保健師 健康推進委員	地域行事参加者	123名	各育児相談会場

計16回 404名

#### ② 乳がん自己検診法リーフレット配布

- ・配布枚数：3,000枚
- ・配布先：子育てママの健康診断結果説明、乳がん月間、女性の健康講座、窓口にて配布

③ ピンクリボンキャンペーンの実施（乳がん月間：10月）

<内容>

- ・ ピンクリボン配布用の台紙に、乳がんの関心を高めるために「自己検診法での乳がん発見率」と「16人に1人が乳がんで亡くなっている」との内容を記載して配布
- ・ 区内循環バスめぐりん全12台に乳がん予防の啓発エンブレムを装着、車内にてポスター掲示
- ・ 区議会議員、区職員へピンクリボン配布、啓発
- ・ 各所にて展示 パネル、ポスター、乳がんモデル、ピンクリボン、リーフレット、パンフレットの配布
- ・ 各育児相談(6箇所)で健康教育実施、ピンクリボン等配布
- ・ 子育て支援課、健康課、男女平等推進プラザ窓口にピンクリボン配布依頼

【会場と時期】

- ・ 台東保健所：10月1日(月)～10月31日(水)
- ・ 浅草保健相談センター：10月1日(月)～10月31日(水)
- ・ 台東区役所：10月3日(水)～10月18日(木)
- ・ 生涯学習センター：10月3日(水)～10月31日(水)
- ・ 台東区役所10階：10月12日(金)、13日(土)消費生活展

④ 広報での啓発

- \* 広報特集記事での啓発（平成24年10月5日号）

(4) 女性の健康講座

目的：ライフサイクルの中で、女性特有の身体の変化等について正確な知識を提供することにより、その状態に応じた自己管理能力の向上と健康不安の軽減を図る。

事業実績：講座の実施

	テーマ	対象	講師	日時	形式	会場	人数
1	家庭教育学級 健康アドバイス	区内幼稚園・小中学校PTA	台東保健所 保健師	依頼に応じて随時	講義	区内幼稚園 小中学校 2ヶ所	53
2	子宮がんの 今を知る ～予防と治療の 最新情報～	保健師 子宮がん に関わる 事務職員	こころとからだの 元氣プラザ  小田 瑞恵氏	1月25日 (金)	講演	台東保健所 6階中会議室	23

計3回76名

## 5 保健指導

### 保健師の活動

保健師の活動の対象は個人・家族・疾病の有無にとどまらず、集団・地域も対象としている。健康な生活を送るため、個々の区民へ働きかけるだけでなく、地域全体へ働きかけ、地域の力を高めることにより、健康な地域をつくることを目指している。そのために、「ひとりひとりが主体的に健康づくりに取り組むことができるようになる＝（自助）」「個人や地域が一体となって支えあい、地域の健康問題を実践しながら解決する力を持てるようになる＝（共助）」を区民の方々が地域の中で実践できるように働きかけている。

また、「自助の活動」を「地域を対象とした活動」へひろげ、「その活動を区全体のシステムやサービスに活かし、計画づくりになどに反映させる取り組み＝（公助）」を行っている。

#### （１）自助の活動

保健師は、区民が自分の健康を知り維持向上させる行動ができるように支援をしている。主な活動は、各地域の担当保健師として個々の区民に対して行う家庭訪問や面接、電話相談などの個別援助活動と、必要な対象者別に行う健康学習や各種相談事業である。特に、社会的に支援の必要な精神障害者や育児不安の強い母子に対して、関係機関と連携しながら当事者の力を引出し、問題解決を図れるように援助している。また、健康学習は保健師が主催して行うものだけでなく、地域のグループ（幼稚園、学校、町会、老人クラブ等）から依頼を受けて行うこともある。

##### ① 個別援助活動

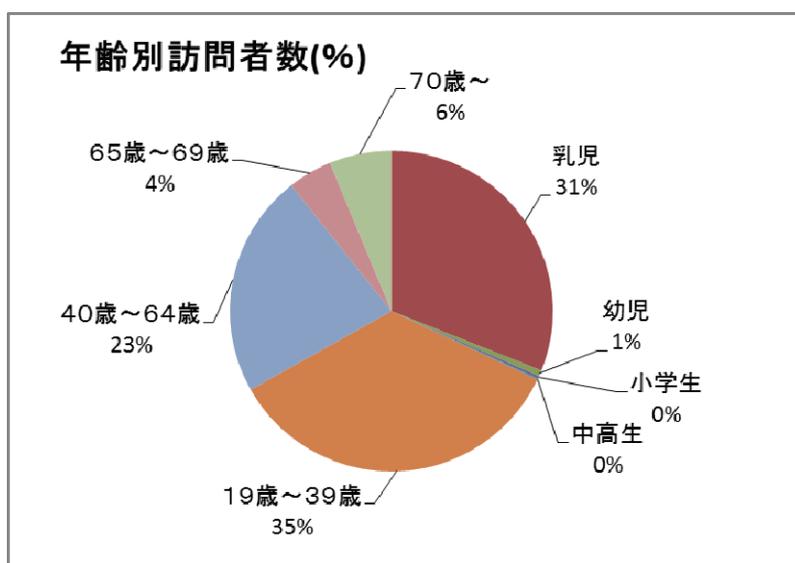
ア、家庭訪問、所内相談、電話相談、文書等連絡、関係機関連絡

区民の随時の相談を受けている。継続相談や他機関との連携を行うなど、相談者に対して総合的なマネージメントを実施している。

		総数	感染症・エイズ	結核予防	精神保健福祉	心身障害	長期療養児	成人（生活習慣病等）	その他疾病（難病等）	妊産婦	乳児	幼児	その他
家庭訪問	数総	3184	96	530	754	16	3	9	24	951	730	67	4
	台東	1979	96	530	504	11	3	9	7	412	367	40	0
	浅草	1205	0	0	250	5	0	0	17	539	363	27	4
所内相談	総数	1882	30	899	701	3	0	24	95	41	44	37	8
	台東	1449	30	899	370	3	0	19	64	26	21	16	1
	浅草	433	0	0	331	0	0	5	31	15	23	21	7
電話相談	総数	4379	278	537	2,121	0	8	48	64	297	719	291	16
	台東	2921	274	537	1,362	0	8	39	61	177	271	191	1
	浅草	1458	4	0	759	0	0	9	3	120	448	100	15
文書等連絡	総数	1896	10	1,665	37	0	0	4	0	10	37	126	7
	台東	1717	10	1,665	3	0	0	4	0	3	10	20	2
	浅草	179	0	0	34	0	0	0	0	7	27	106	5
関係機関連絡	総数	4778	191	1,211	2,774	48	5	11	2	98	194	210	34
	台東	2999	191	1,211	1,322	12	5	11	2	70	84	59	32
	浅草	1779	0	0	1,452	36	0	0	0	28	110	151	2

## イ、年齢別家庭訪問数

(件数)	総数	感染症・エイズ	結核予防	精神保健福祉	心身障害	長期療養児	(生活習慣病等) 成人	その他疾病(難病等)	妊産婦	乳児	幼児	その他
乳児	1058	6	30	0	1	0	/	0	/	1021	/	0
幼児	21	10	0	0	11	0	/	0	/	/	/	0
小学生	8	5	0	0	3	0	/	0	/	/	/	0
中高生	5	0	2	0	0	3	/	0	0	/	/	0
19歳～39歳	1186	5	82	167	1	/	0	0	931	/	/	0
40歳～64歳	767	20	213	499	0	/	0	14	20	/	/	1
65歳～69歳	151	10	77	63	0	/	0	0	/	/	/	1
70歳～	212	40	126	25	0	/	9	10	0	/	/	2



年齢別訪問者数では、19歳～39歳が35%と多く、ついで乳児が31%、40歳～64歳が23%である。

## ② 各種相談事業

相談日を設定し、各種の相談(育児相談・子育て心理相談・こころの健康相談・女性のための健康相談)を実施している。

### (2) 共助の活動

保健師は、共通のニーズをもった区民のグループづくりやそれらの自主的な取り組みをサポートしている。そして、これら地域の社会資源をつなぎ合わせネットワークを構築することで、地域全体の健康づくりへと広げている。

## ① 具体的な援助

### ア、健康づくり啓発推進(健康推進委員活動)

健康推進委員は、各地区町会連合会単位のある11地区ごとに、地域の特性を活かした健康づくり活動を行っている。保健師は、それぞれ各地区を担当し健康推進委員が行う地区連絡会の開催、健康学習会の企画・実施、地域行事への参加等、地区単位の活動を支援している。また、これらの健康づくりが区全体の動きとなるよう、11地区合同の交流会やリーダー会も支援している。(健康推進委員活動実績等は、P112を参照)

#### イ、いきいき若返りまつり

概ね 65 歳以上の高齢者および介護予防に関心のある区民への共助の力を伸ばす働きかけを行うことによって、介護予防に関して地域全体に関心を持ち合える地域づくりを目指すきっかけとして介護予防イベント「いきいき若返りまつり」と「地域座談会」を実施している。  
(実績等は、P 1 3 4 を参照)

#### ウ、ころばぬ先の健康体操サポーター養成

高齢者の健康づくり教室で実施した運動を、区民の力で区内全域に広めるため、その推進役となるサポーターを養成し活動をしている。体操の良さと必要性、教室の案内や誘い出しなどの広報活動や、地域のグループに対し体操指導を行っている。また、保健所が企画する教室へ実行委員として参画している。  
(実績等は、P 1 3 4 を参照)

#### エ、ふれあい介護予防教室

地域の高齢者の閉じこもり予防と介護予防の情報提供の場として、地域包括支援センターと保健所が共催で実施している。高齢者だけでなく地域のボランティアの参加など、地域の力で高齢者の閉じこもりを予防し、高齢者を支える拠点づくりを目指している。  
(実績等は、P 1 3 3 を参照)

#### オ、いきいき自主活動支援

地域住民による高齢者のための健康づくり・交流の機会を提供する自主活動グループの支援を目的として平成 1 6 年度から実施している。社会との関わりを持つことは認知症や閉じこもり等を防止する意味からも大切になってくる。保健師は、活動団体の支援のほか地域資源の発掘・新たに活動しようとしている団体に対しても積極的な支援を行っている。  
※支援対象団体には①助成対象団体（1 年間のみ助成金の交付を受ける団体）と②登録対象団体（支援リストに登録され、活動の P R ・会員増加・運営面の相談・支援等を保健所から受ける団体）がある。  
(実績等は、P 1 3 5 を参照)

#### カ、プレイルーム運営（あさくさ おやこるーむ）

親子が自由に遊び、子育て中の保護者同士が交流できるよう場所の提供や子ども文庫を設置し、絵本や保護者向けの図書を貸し出ししている。また子育てに関する区内の最新情報を提供し、集う場を提供して育児グループづくりを支援している。  
(利用者実績等は、P 1 2 3 を参照)

#### キ、育児ほっとタイム（育児心の悩み相談・MCG）

子育てに自信がない、子どもがかわいくないなどの心理状態や家族関係に悩む保護者の精神的安定を目指して匿名性のグループミーティングを行っている。グループ以外のフォローが必要な保護者については、個別心理相談の利用を勧めたり、地区担当保健師による個別支援をしている。  
(実施回数等は、P 1 2 2 を参照)

#### ク、精神障害者社会復帰相談指導事業(デイケア)

(平成 24 年度より、保健予防課精神保健係担当)

回復途上の精神障害者が、集団および個別の生活指導を通して日常生活習慣の取得や社会生活の適応力を高めることを目的としている。保健師は、個別援助のみならず関係者・機関と協力し、当事者が住み慣れた地域で生活していけるように援助している。

(実施回数等は、P 9 1 を参照)

#### (3) 公助の活動

保健師は、自助・共助でつかんだ区民の意見を基盤整備やサービスを作るときの参考になるように、各種計画づくり会議等に参画し、自助や共助を推進していけるよう活動している。

## 6 介護予防事業

### (1) 高齢者の健康づくり事業

在宅の高齢者が、寝たきりなどの要介護状態に陥らないように各種事業を実施している。事業内容は、高齢者が元気で過ごすことができるよう、生活や食事、転倒予防・口腔機能向上等の知識普及、運動機能訓練等を行っている。

#### ア、高齢者の健康づくり教室

高齢者の健康づくりに必要な知識を普及するための教室を実施した。

(知識編・運動編・尿失禁予防・栄養,口腔機能向上)

また、今年度は、ころばぬ先の健康体操や体操を行っている教室などの周知のため、CATVの放映を実施した。

内 容		日 数	参加人員
運動編	ころばぬ先の元気塾 (2日制)	2日	189名
運動編	CATV 撮影	1日	
知識編	保健師研修会	1日	15名
尿失禁	尿もれお悩み解決教室 (1日制7ヶ所)	7日	103名
栄養改善 (二次予防事業対象者)		1日	1名
口腔機能向上 (二次予防事業対象者)		6日	35名
合 計		18日	343名

#### イ、ふれあい介護予防教室

身近な地域の中で、健康づくりを広めることや閉じこもり予防を目的とし、区内の各地域包括支援センターと共に教室を実施した。平成23年度より地域包括支援センターが1ヶ所増え、全7ヶ所で実施している。

実 施 場 所	日 数	参加人員
やなか地域包括支援センター	11日	112名
たいとう地域包括支援センター	11日	131名
くらまえ地域包括支援センター	11日	101名
あさくさ地域包括支援センター	11日	138名
みのわ地域包括支援センター	11日	157名
まつがや地域包括支援センター	11日	85名
ほうらい地域包括支援センター	10日	52名
合 計	76日	776名

ウ、地域からの依頼による高齢者健康教室

地域からの依頼により、介護予防に必要な知識を普及するための教室を実施した。

内 容	日 数	参加人員
保健師による健康教室 (介護予防に関する講座と体操・熱中症予防・風邪予防など)	7日	159人
栄養士による健康教室 (健康に過ごすための食、災害時の食の備え)	2日	53人
歯科衛生士による健康教室(高齢期の口腔ケア)	1日	15人
合 計	10日	227人

(2) 高齢者の健康な地域づくり支援事業

ア、介護予防イベント

地域全体が関心を持ち合える地域づくりを目指し、地域包括支援センター単位で、介護予防に関するイベントを実施した。

内 容	日 数	参加人員
介護予防イベント「いきいき若返りまつり」	7日	1,301人
地域座談会(参加団体数:66団体)	42日	643人
合 計	49日	1,944人

イ、ころばぬ先の健康体操サポーター養成・サポーター活動

高齢者の体力の向上、特に転倒予防につながる下肢筋力の向上を目的とした「ころばぬ先の健康体操」を区内に広げるためのサポーターを養成し、活動をおこなった。

①サポーター活動実績 サポーター登録者数:34名

活動内容	派遣人数	指導人数	従事回数
保健所主催事業	387人	1,210人	91回
自主活動	538人	4,170人	223回
地域等からの依頼	122人	1,002人	77回
その他(登録証交付式)	28人		1回
合 計	1,075人	6,382人	392回

② サポーター養成カリキュラム実績

内 容	回数	参加人数
(教室見学) ふれあい介護予防教室	6回	11名
(教室見学) 自主グループ	8回	14人
(教室見学) 専門講師の教室	2回	7人
養成講座	2回	8人
登録者講座	3回	76人
準備講座	1回	29人
説明会	1回	4人
合計	23回	149名

(3) いきいき自主活動支援

地域で介護予防に資する活動に取り組む自主グループを育成、支援することについて必要な事項を定めることにより、区民の自主的な介護予防の取り組みを促進し、共助のまちづくりを推進するための支援を行っている。「地域ミニデイ」という事業名が平成18年度より、「いきいき自主活動支援」事業に名称変更となる。

登録団体 23 団体

うち助成金交付団体 6 団体

	名 称	会員数	活動頻度	事 業 内 容
1	花堤会	33 人	2 回／月 (金)	健康体操を通じた健康増進と親睦
2	いきいき盆踊り体操 ひまわり会	19 人	2 回／月 (火)	転倒予防体操と交流
3	坂本太極拳同好会	12 人	4 回／月 (水)	太極拳
4	マジック同好会 カッター	11 人	4 回／月 (木)	マジックと交流
5	ビューティフルフラ	8 人	4 回／月 (水)	フラダンス
6	すみれ会 (大正琴)	18 人	2 回／月 (土)	大正琴と交流

(4) いきいきハロー教室 (一般高齢者施策)

家に閉じこもりがちな高齢者に対し、軽い体操、音楽療法、工作等のプログラムを実施する教室を開催し、運動機能の向上や外出促進を図り、身体的機能の低下や閉じこもりを予防する。

教 室 名	実施回数	延べ参加人数
いきいきハロー教室	95回	912人

## 7 栄養指導

平成17年に「食育基本法」が施行され、それぞれの年代にあった食育がすすめられている。しかし、「平成23年東京都民の健康・栄養状況」によると、成人男性の31.9%、女性の14.0%が肥満である。糖尿病や高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病を予防することは、区民の健康保持増進に不可欠であり、それには子どものころからの食生活改善が大切である。そこで、関係機関と連携をしながら、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを組み合わせた効果的な指導体制を構築するよう努めている。

### (1) 母子栄養指導

#### ア 妊産婦

妊娠中の食生活は、胎児や母体にも大きな影響を及ぼすと同時に、健康な家庭生活を築いていくうえで基本となる。

そこで、ハローベビー学級で、妊婦の食生活の改善指導を実施している。

また、調理実習を中心とした講習会として、マタニティクッキングも行っている。

事業名	個別指導 (人)	集団指導	
		回数	人数
ハローベビー学級 マタニティクッキングなど	14	14	246

#### イ 乳幼児・学童

少食・偏食・体重増加不良など、乳幼児の食生活に関する悩みを持つ母親は多く、相談も増加傾向にある。

そこで、3～4か月児、1歳6か月児、3歳児健診、子ども健康相談などの定期健診時に、集団指導や個別相談を実施すると共に、離乳食講習会や親子クッキング、育児相談、地域の育児サークルからの依頼等の健康学習で、食生活に関して助言・指導をしている。

事業名	個別指導 (人)	集団指導	
		回数	人数
乳幼児健診	544	48	1,400
健康学習		26	391
電話・来所相談 育児相談など	1,016		
合計	1,560	74	1,791

## (2) 成人栄養指導

食生活や運動などの生活習慣を改善することで、「生活習慣病」の予防につながるため、健康保持増進・疾病予防における正しい知識の提供と実践方法について、健康学習等を実施している。

また、高齢者の健康づくりとして低栄養予防に関する講習会や個別栄養相談を利用した介護予防プログラム（低栄養）を実施している。

保健所主催で実施するものだけでなく、自主活動グループ、町会等からの依頼による講習会等も行なっている。

また、地域の医療機関からの紹介や区民健診、総合健康診査等の健診結果に基づき、個別栄養相談を実施している。

事業名	個別指導 (人)	集団指導	
		回数	人数
個別栄養相談	58		
健康学習		36	624
電話・来所相談など	794		
関係機関からの依頼	0	2	88
合計	852	38	712
(再掲) 介護予防	1	9	163

### (3) 特定給食施設指導

健康増進法に基づき定められた特定給食施設において、喫食者に栄養効果の十分な給食が提供できるよう、栄養士・調理師等給食従事者に対し、栄養や食品衛生に関する知識と技術の向上を図っている。また、5月、11月は栄養管理報告書の報告月であり、「給食施設」54施設、「病院・介護施設」21施設が報告を出している。

また、希望する施設には、電子メールによる栄養情報を配信した。

#### ア 特定給食施設数

	総 数	特定給食施設	その他の施設
学 校	28	28	0
病 院	10	6	4
介 護 老 人 保 健 施 設	2	2	0
老 人 福 祉 施 設	7	1	6
児 童 福 祉 施 設	21	8	13
社 会 福 祉 施 設	3	2	1
事 業 所	25	12	13
寄 宿 舎	0	0	0
矯 正 施 設	0	0	0
自 衛 隊	0	0	0
一 般 給 食 セ ン タ ー	1	1	0
そ の 他	17	2	15
合 計	114	62	52

#### イ 指導件数（延べ数）

栄養管理について個々の施設の状況に合わせ個別指導を行うとともに、講習会等の集団指導を実施している。

区 分		施 設 数
栄養管理指導	個 別 指 導	149
	集 団 指 導	79

#### ウ 電子メールによる栄養情報配信

給食施設に対し、栄養管理や衛生に関する情報を迅速に提供するために、電子メールで定期的に配信している。

配信施設数	30施設
配信回数	29回/年

#### エ 栄養管理講習会・研修会

健康増進法に基づき、特定給食施設及びその他の給食施設の栄養士や給食従事者に対して、食品衛生や栄養管理に関する講習会を実施し、食中毒予防や施設の適切な栄養管理に役立てるものである。

開催日時 : 平成24年5月15日 講習内容 : 「食中毒予防・食品衛生情報」 講師 : 台東保健所 食品衛生監視員
開催日時 : 平成24年7月3日 講習内容 : 児童福祉施設の栄養士向け研修会「食育について」 講師 : 台東保健所 管理栄養士
開催日時 : 平成24年8月2日 講習内容 : 病院・高齢者施設等研修会「ソフト食について」 講師 : 台東保健所 管理栄養士
開催日時 : 平成25年3月22日 講習内容 : 「スパイス&ハーブがあれば野菜がもっと美味しい!楽しい!」 講師 : シニア野菜ソムリエ 武田 由季

#### (4) 栄養表示基準に関する指導

健康増進法第31条及び32条の2に基づき、加工食品における栄養表示について、事業者からの相談業務を行っている。また、各都道府県が実施する試売調査結果に基づき、不適正表示の相談にも応じている。

相談延べ件数	60件
--------	-----

#### (5) 国民健康・栄養調査

この調査は、厚生労働省が健康増進法に基づき国民の食物摂取、栄養素等摂取状況等の実態を把握すると同時に、栄養と健康との関連を明らかにし、広く健康増進対策等に必要な基礎資料を得ることを目的に実施するものである。内容は、身体状況、栄養摂取状況、生活習慣状況からなる。

平成24年度の調査地区 台東区浅草2-18-7 金井ビルⅡ

対象世帯数 30世帯 84人

	栄養摂取状況	身体状況	血液	歩数	生活習慣状況
実績	7世帯	10世帯	8人	14人	16人

## 8 歯科保健

歯と口の健康を維持することは、単に食物を咀嚼するというだけでなく、食事や会話を楽しむなど、豊かな人生を送るための基礎となるものである。

また、歯の喪失は、食生活や社会生活に支障を来し、ひいては全身の健康にも影響を与える。

そこで、乳幼児から高齢者まで、生涯にわたる「歯と口腔の健康づくり」をすすめるため、次のような歯科保健事業を実施している。

母子歯科保健	成人・高齢者・ 障害者歯科保健	普及啓発・相談
ハローベビー学級・妊産婦歯科健診 育児相談 1歳6か月児・2歳児・3歳児・歯科健診 歯科衛生相談	歯科衛生相談 歯科基本健診 歯科基本健診フォローアップ	健康学習 高齢者の健康づくり 歯の衛生週間行事 8020達成者表彰 健康まつり

### (1) 母子歯科保健

#### ア 妊産婦

妊産婦は、むし歯や歯周病などに罹患しやすいので、歯の衛生には特に注意が必要である。そこで、ハローベビー学級で「妊娠中の歯の健康と赤ちゃんの歯」についての講義を実施している。

また、ハローベビー学級受講者及び希望する妊産婦に対し、歯科健診と歯科保健指導を実施している。

#### 妊産婦歯科健診

区分	実施回数	受診者数(妊婦)
総数	10	183
台東	5	104
浅草	5	79

#### イ 乳幼児

##### (ア) 1歳6か月児歯科健康診査

1歳6か月児健康診査の一環として歯科健康診査と歯科保健指導を実施している。

##### (イ) 2歳児歯科健康診査

希望者に対し、歯科健康診査と歯科保健指導を実施している。

##### (ウ) 3歳児歯科健康診査

3歳児健康診査の一環として歯科健康診査と歯科保健指導を実施している。

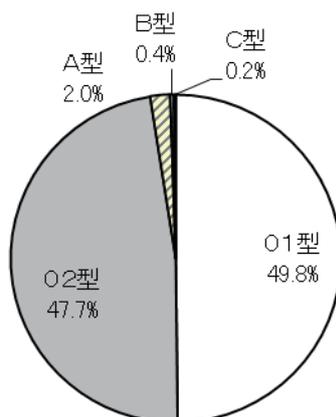
(ア) 1歳6か月児歯科健康診査

区分	実施人員	むし歯のない者			むし歯のある者					処置歯のある者	鍍銀歯のある者
		O1型	O2型	総数	A型	B型	C型	総数	率		
総数	1,128	562	538	1,100	22	4	2	28	2.5%	0	2
台東	474	230	226	456	14	3	1	18	3.8%	0	1
浅草	654	332	312	644	8	1	1	10	1.5%	0	1

\*単位：件数

区分	その他異常のある者			現在歯数	むし歯の総数	1人平均むし歯数	処置歯の総数	鍍銀歯の総数
	不正咬合	口腔軟組織疾患	その他					
総数	134	67	86	16,509	90	0.08	0	9
台東	69	17	38	6,863	65	0.14	0	5
浅草	65	50	48	9,646	25	0.04	0	4

\*単位：歯



(イ) 2歳児歯科健康診査

区分	実施人員	むし歯のない者			むし歯のある者			
		O1型	O2型	総数	A型	B型	C型	総数
総数	335	182	151	333	1	0	1	2
台東	191	110	79	189	1	0	1	2
浅草	144	72	72	144	0	0	0	0

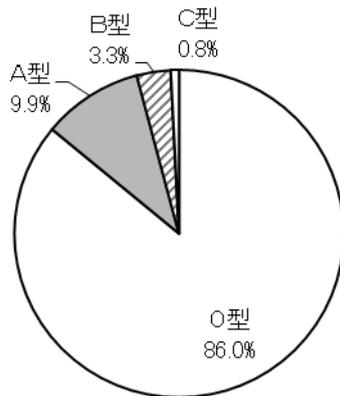
(ウ) 3歳児歯科健康診査

区分	実施人員	むし歯のない者	むし歯のある者					処置歯のある者	鍍銀歯のある者
			A型	B型	C型	総数	率		
総数	992	853	98	33	8	139	14.0%	35	11
台東	434	373	43	17	1	61	14.1%	16	6
浅草	558	480	55	16	7	78	14.0%	19	5

\*単位 : 件数

区分	その他異常のある者			現在歯数	むし歯の総数	1人平均むし歯数	処置歯の総数	鍍銀歯の総数
	不正咬合	口腔軟組織疾患	その他					
総数	170	32	69	19,663	429	0.43	71	44
台東	58	5	42	8,604	178	0.41	39	25
浅草	112	27	27	11,059	251	0.45	32	19

\*単位 : 歯



注 (ア)～(ウ)の用語説明

- 0 1 型 むし歯がなく、かつ口腔環境がよいと認められる者
- 0 2 型 むし歯はないが、口腔環境が良好でなく、近い将来において、むし歯り患の不安のある者
- A 型 上の前歯のみ、または奥歯のみにむし歯のある者
- B 型 上の前歯と奥歯にむし歯のある者
- C 型 下の前歯やその他にむし歯のある者
- 鍍銀歯 フッ化ジアンミン銀塗布歯

(エ) その他

8か月児の保護者に対し、「赤ちゃんの歯とお口の健康情報」を送付し、初めての歯みがきのポイントや、各種教室案内を行い、普及啓発に努めている。また、歯科衛生相談（歯科健診・相談・歯みがき指導等）を実施するとともに、地域でも育児相談で歯科保健指導を実施している。

(2) 歯科衛生相談

生涯を通じた歯と口腔の健康づくりをめざして、乳幼児から高齢者までを対象に、歯科衛生相談日を設け、歯科健康診査、保健指導、歯の健康教室及び予防処置を実施している。

ア. 歯科健康診査及び保健指導

区分		受診者総数		妊産婦	乳幼児	その他						開設回数
						40歳未満		40歳以上		計		
総数	総数	715	(49)	36	589	78	(40)	12	(9)	90	(49)	49(4)
	初診	297	(0)	32	226	36	(0)	3	(0)	39	(0)	
	再来	418	(49)	4	363	42	(40)	9	(9)	51	(49)	
台東	総数	399	(35)	22	319	49	(27)	9	(8)	58	(35)	25(3)
	初診	160	(0)	20	119	20	(0)	1	(0)	21	(0)	
	再来	239	(35)	2	200	29	(27)	8	(8)	37	(35)	
浅草	総数	316	(14)	14	270	29	(13)	3	(1)	32	(14)	24(1)
	初診	137	(0)	12	107	16	(0)	2	(0)	18	(0)	
	再来	179	(14)	2	163	13	(13)	1	(1)	14	(14)	

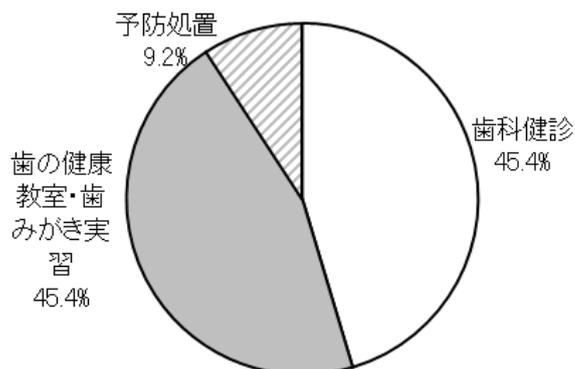
( ) 障害者を再掲

イ. 歯の健康教室・歯みがき実習

区分	受講者数	開設回数
総数	716	134
台東	384	66
浅草	332	68

ウ. 予防処置(4歳未満の希望者)

区分	実施数	フッ素塗布		鍍銀		歯口清掃	歯石除去	開設回数
		件	歯	件	歯	件	件	
総数	145	143	2,545	-	-	-	2	53
台東	76	76	1,406	-	-	-	-	26
浅草	69	67	1,139	-	-	-	2	27



### (3) 普及啓発

#### ア 健康学習、健康相談

歯と口腔の健康を保つための健康学習会や健康相談等を実施し、  
好ましい生活習慣が実践できるよう、普及啓発を図った。

区 分	実施総数	母子	成人・高齢者・障害者
個別相談	198	163	35
健康学習	1,182	1,004	178
高齢者の健康づくり (口腔機能向上)	233	—	233

#### イ 歯の衛生週間行事

区内2歯科医師会に委託して「歯の無料健康相談」を2会場で実施している。

区 分	総 数	台東区歯科医師会館	浅草公会堂
参加人数	664	164	500

#### ウ 8020 達成者表彰

区 分	表彰者数	認定者数
人 数	80	46

#### 注 ウの用語説明

8020 達成者：80歳以上で自分の歯が20本以上ある健康な者

表彰者：審査の結果、24年度に初めて8020達成者として表彰された者

認定者：過年度において8020達成者として表彰されており、審査の結果24年度も自分の歯が20本以上あると認められた者

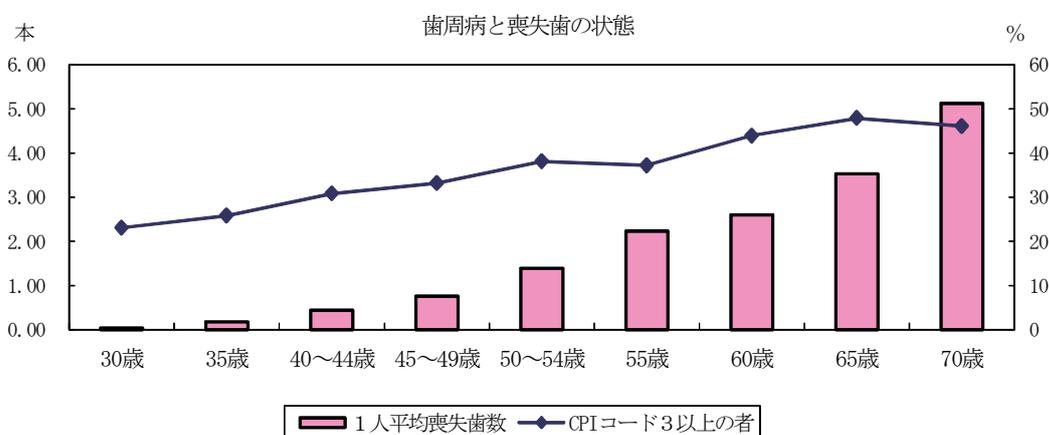
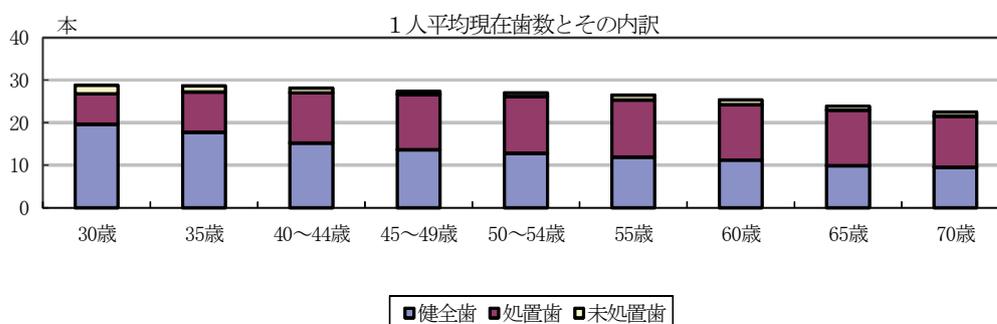
#### (4) 成人歯科保健

##### ア 歯科基本健康診査

歯の喪失を予防し、高齢期における健康を維持するため、区内2歯科医師会に委託して歯科基本健康診査を実施している。

受診者内訳	30歳	35歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳	60歳	65歳	70歳	総数	受診率
男性	109	103	480	416	416	92	110	211	150	2,087	6.9%
女性	172	197	893	691	589	116	147	218	209	3,232	12.1%
総数	281	300	1,373	1,107	1,005	208	257	429	359	5,319	9.3%
受診率	9.1%	9.6%	8.3%	8.2%	9.0%	10.1%	11.6%	13.3%	15.5%	9.3%	

1人平均歯数	30歳	35歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳	60歳	65歳	70歳
健全歯	19.6	17.8	15.2	13.7	12.8	11.9	11.2	9.9	9.5
処置歯	7.2	9.4	11.8	13.0	13.3	13.4	13.0	13.0	12.0
未処置歯	2.0	1.4	1.1	0.8	0.9	1.1	1.1	1.0	1.0
現在歯	28.8	28.5	28.1	27.5	27.0	26.4	25.2	23.9	22.5



\*CPIコード3以上 歯周ポケット4mm以上あり歯周病が進行している

##### イ 歯科基本健康診査フォローアップ

歯科基本健康診査受診者で、「要指導」及び歯科医師が必要と認めた者に対し、ニュースレターを送付し、受診者が自ら自分の歯の健康の保持及び歯の喪失の予防を図ることができるよう支援する。

ニュースレター送付者数	2,254人
-------------	--------

## 9 健康増進センター事業

### (1) 健康増進センター運営

生涯にわたる健康づくりを推進し、区民の自主的な健康づくりを支援するため、医師、保健師及び栄養士による健康度測定を行い身体状況に応じた運動プログラムを提供し、あわせて運動、保健及び栄養等専門スタッフの指導のもとに、トレーニング機器等を使用した総合的な健康づくりの実践を図っている。

利用対象 区内在住・在勤の18歳以上の方

#### 《年度別利用者数》

##### 上野健康増進センター

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
トレーニング室等使用者	26,091	26,991	27,612	25,032	25,366
健康度測定受診	95	95	86	88	88

##### 千束健康増進センター

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
トレーニング室等使用者	10,833	10,886	2,604	8,271	8,852
健康度測定受診	28	32	9	30	33

※ 平成22年度7月から3月まで千束健康増進センターは改修工事のため休館

(2) 千束・上野健康増進センター 利用の流れ

